

ICU OGC合唱団

第22回 定期演奏会

2019年5月18日[土] 13:30開場 14:00開演

小金井 宮地楽器ホール 大ホール

全席自由 2000円

Program

ルネサンス ミサ曲

Missa O Magnum Mysterium (T. L. de ビクトリア) 指揮:花岡山裕

ロシア正教聖歌

天の高きより(ラフマニノフ)ほか

指揮:折田真樹

イングランド・アイルランド・アメリカの歌

埴生の宿、グリーンズリーブズほか

指揮:花岡山裕

黒人霊歌

Mary Had A Baby, Witness ほか

指揮:花岡山裕

問い合わせ・
チケット申込み先

ICU OGC 合唱団ホームページ: <http://www.icuogc.jp/>
谷口: Tel&Fax 045-983-2464 e-mail yu-taniguchi@c09.itscom.net
e+ (イープラス)でもお求めいただけます。



ICU OGC合唱団の紹介

ICU(国際基督教大学)グリークラブのOB・OGを中心に結成された混声合唱団で、本年度で結成29周年を迎えた。アカペラ(無伴奏)の曲を得意とし、ルネサンスの宗教曲、黒人霊歌、ロシア正教聖歌を主なレパートリーとして1992年の第1回以来、21回の定期演奏会のほか海外の芸術祭、チャリティコンサート参加など幅広い演奏活動を行ってきた。一方で、2001年にICU献学50周年記念として長谷川朝雄氏(ICU第1期生)の指揮による第1回『ICUメサイア』を行って以来、数年に1度の間隔でオーケストラ伴奏つきの大曲に取り組み、「メサイア」「エリヤ」のほか、2017年には「天地創造」を花岡由裕指揮で演奏、好評を博した。

指揮者の紹介

折田 真樹 *Orita, Maki* (声楽家・合唱指揮者・ロシア聖歌研究家)

国際基督教大学、東京芸術大学卒業。安宅賞。卒業代表演奏。同大学院独唱科修了。在学中中学外にてイタリア人指揮者の薫陶のもと言語と発声及び詩的朗読の関係に深い関心を抱く。卒業後、国内外でイタリア語オペラ活動を続ける一方、20年に亘りICU教会聖歌隊指揮者を務める。1995年渡露、ロシア正教近代聖歌譜を大量に持ち帰り、研究・演奏。2003年『近代ロシア聖歌集』(恵雅堂)を上梓。雑誌『ユリイカ』等に関係論稿を発表。その後、東西教会音楽観の相違と古代ギリシャ音階論争及びルネサンスの連関を主張。関連して『冬の旅』の東方西方メタファーについての論考を社会文化学会にて発表。原語全曲演奏会も回を重ねる。日本ユーラシア協会報にロシア聖歌エッセイ「渦に戯れミューズはブルーヴィに舞う」全12回の連載。同協会にて記念講演会開催。日本ハリストス教団東京復活大聖堂(通称ニコライ堂)聖歌隊指揮者。

花岡 由裕 *Hanaoka, Yoshibiro* (合唱指揮者)

2002年に国際基督教大学教養学部人文科学科卒業後、2003年にニューヨークのマネス音楽院に留学。その間、Cantori New York、New York Men's Choirの指揮者として研鑽を積む。2007年に国連で行われたバン・キムン事務総長就任記念コンサートに於いて、マーラーの交響曲第二番“復活”のコーラル・インスペクターを務めた。同年、マネス音楽院合唱指揮科修士課程を修了後、帰国。指揮法を大谷研二、M・シャピロ、永峰大輔、大山平一郎各氏に、音楽理論を金澤正剛、伊東辰彦両氏に師事。2008年、2009年東京混声合唱団を指揮。2017年にはICU OGCとプロフェッショナルズ・オーケストラによるハイドン作曲“天地創造”を指揮した。現在、東京都、埼玉県、千葉県、長野県に於いて、サンメール・コア、コーロ・ブリオ、アンサンブル・コンコルディア、学習院大学女声合唱団等10団体以上の常任、客演指揮を務めている。

会場アクセス

小金井 宮地楽器ホール

電車: JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前

バス: 小田急バス、関東バス、西武バス、京王バス

「武蔵小金井駅」下車 徒歩1分

